

こどものインフルエンザ予防接種注意事項



— 予防接種を受ける前に必ずお読みください。 —

小児のインフルエンザ予防接種は任意接種です。

下記の注意事項をお読みになり、接種医師との相談によって判断し接種を受けてください。

インフルエンザの症状

インフルエンザウイルスの感染を受けてから1～3日間ほどの潜伏期間の後に、発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛、のどの痛み、咳、鼻水などで、普通の風邪に比べて全身症状が強いのが特徴です。小児では、中耳炎の合併、熱性けいれんや気管支喘息の誘発、まれに急性脳症などの重症合併症があらわれることもあります。

接種時期・効果

- ・ワクチンが十分な効果を維持する期間は、接種後2週間後から約5か月間とされています。
- ・小児の場合、年齢が低いほど、ワクチンの効果の割合は下がるといわれています。
- ・通常、初冬から春先にかけて流行するため、12月中旬までの接種が望ましいとされています。
- ・医師が必要と認めた場合には、他のワクチンと同時に接種することができます。

インフルエンザワクチンについて

小児のインフルエンザワクチンは生ワクチン、不活化ワクチンの2種類あり、いずれか1種類を接種できます。

種 類	生ワクチン (経鼻弱毒生インフルエンザワクチン)	不活化ワクチン (インフルエンザHAワクチン)								
										
対 象 者	2歳から高校3年生相当の者	生後6か月から高校3年生相当の者								
接種回数	年1回	13歳未満: 年2回 13歳以上: 年1回 ※2回目は2～4週間の間隔をあける								
接種方法	鼻腔内に噴霧	皮下に注射								
副 反 応	<table><tr><td>10%以上</td><td>鼻閉・鼻漏、咳嗽、 口腔咽頭痛、頭痛</td></tr><tr><td>1～10% 未満</td><td>鼻咽頭炎、食欲減退、下痢、 腹痛、発熱、活動性低下・疲 労・無力症、筋肉痛</td></tr><tr><td>1%未満</td><td>発疹、鼻出血、胃腸炎、 中耳炎</td></tr><tr><td>頻度不明</td><td>顔面浮腫、蕁麻疹、 ミトコンドリア脳筋症の症状悪 化、倦怠感</td></tr></table>	10%以上	鼻閉・鼻漏、咳嗽、 口腔咽頭痛、頭痛	1～10% 未満	鼻咽頭炎、食欲減退、下痢、 腹痛、発熱、活動性低下・疲 労・無力症、筋肉痛	1%未満	発疹、鼻出血、胃腸炎、 中耳炎	頻度不明	顔面浮腫、蕁麻疹、 ミトコンドリア脳筋症の症状悪 化、倦怠感	《通常おこりうる副反応》 発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、接種部位の発赤、 腫れ、疼痛などがあらわれることがあります が、通常2～3日のうちに治ります。 《まれにおこる重い副反応》 接種直後から数日中に、発疹、蕁麻疹、紅 斑、かゆみ等があらわれることがあります。 非常にまれですが、けいれんや脳症、脊髄 炎、肝機能障害、ショック、アナフィラキシー (蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等)などの重篤 な副反応があらわれることがあります。
10%以上	鼻閉・鼻漏、咳嗽、 口腔咽頭痛、頭痛									
1～10% 未満	鼻咽頭炎、食欲減退、下痢、 腹痛、発熱、活動性低下・疲 労・無力症、筋肉痛									
1%未満	発疹、鼻出血、胃腸炎、 中耳炎									
頻度不明	顔面浮腫、蕁麻疹、 ミトコンドリア脳筋症の症状悪 化、倦怠感									

予診票の記入について

安全に予防接種を受けるために、接種前には必ず予診票をお読みにになり、質問項目に沿って確実にご回答ください。

予防接種を受ける前に、主治医に相談が必要な人

- ・心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患や血液疾患等及び発育障害等の基礎疾患のある人
- ・今までにひきつけ(けいれん)をおこしたことがある人
- ・インフルエンザワクチンの成分や鶏肉や鶏卵、その他の鶏由来のものに対し、アレルギーのある人
(離乳食でまだ鶏肉や鶏卵を食べさせていない場合は、担当の小児科医によく相談してください)
- ・過去に受けたインフルエンザ予防接種で、具合が悪くなったことがある人

予防接種を受けることができない人

- ・接種当日に体温が37.5℃以上ある人
- ・重い急性の病気にかかっている人
- ・その他、医師が不適当な状態と判断した場合

※経鼻弱毒生インフルエンザワクチン(フルミスト)の場合は上記に加えて、下記に該当する方も予防接種を受けることができません。

- ・明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者
- ・妊娠していることが明らかな者

接種後の注意事項

・予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。接種を受けた後15分以上(※1)接種を受けた医療機関で待機するか、医師とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。

※1 過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は30分以上

- ・インフルエンザワクチンの副反応の多くは、24時間以内に出現しますので、特にこの間は体調の変化に注意しましょう。
- ・入浴は差し支えありませんが、注射部位を強くこすらないでください。
- ・接種当日は、いつも通りの生活をして構いませんが、激しい運動は避けましょう。

※予防接種を受けた後、接種部位の異常反応や体調の変化を訴える場合は、医師の診察を受けてください。

医師の診察を受けたときは、中能登町健康保険課にご連絡をお願いします。

【問い合わせ先】

中能登町 健康保険課 担当:長田
TEL 0767-72-3140